

改善事例発表大会2024

2024年 6月 21日開催 名古屋国際会議場

(愛知県名古屋市)



大会の注目ポイント!

生産・保全現場の困りごと・課題に
挑んだ改善事例が集結!
あなたの現場をより良くする
改善ヒントが多数!!

現場主体のDXに挑戦した改善

故障・不良ゼロへの挑戦

考動できる人財育成エピソード

のほか、今、注目の発表テーマが多数!!

イベントの詳細・お申込みは、
改善事例発表大会公式サイトから
<<https://info-jipm.jp/event/kaizen/>>



発表企業

愛三工業株式会社 ※50音順
株式会社アイシン
アイシン高丘株式会社
愛知製鋼株式会社
味の素株式会社
イビデン株式会社
IBIDEN Hungary Kft
サントリープロダクツ株式会社
JFEスチール株式会社
下村特殊精工株式会社
大同特殊鋼株式会社
株式会社デンソー
株式会社東海理化
東レ株式会社
豊田合成株式会社
トヨタ自動車株式会社
株式会社豊田自動織機
トヨタ車体株式会社
トヨタ紡織株式会社
日本製鉄株式会社
古河電気工業株式会社
ホルガワナー・モルシステムズ・ジャパン株式会社

会場アクセス



〒456-0036
愛知県名古屋市
熱田区熱田西町1-1

■ 地下鉄
「西高蔵駅」or
「日比野駅」
下車 徒歩5分

元ノづくりで日本を盛り上げよう!!!

全国設備管理強調月間とは、

経営者層をはじめ全従業員の設備管理への意識を高め、設備管理の重要性を広く認識いただくことで、産業界の生産性向上のみならず環境保全や事故、災害防止に寄与することを目的としています

発表数 : **22社 34事例**

時間		発表情報		※ 敬称略
09:30▶		開場・受付開始		
10:00▶10:10		開会のあいさつ		
事例1	10:10 ▼ 10:30	工務・保全 信頼・協働・安定の熱延工場を目指して 日本製鉄株式会社 名古屋製鉄所 熱延・鋼片・鋼管整備室	杉浦 麗菜	<発表キーワード> ● 設備の管理方法・基準の見直し ● デジタル技術を利用した改善 ● 改良保全
	事例2	10:40 ▼ 11:00	工務・保全 重要設備でのヒータートラブル低減活動 ～若手保全マン達の挑戦～ 古河電気工業株式会社 三重事業所 AT製造部 設備技術課 保全作業組	岡野 駿
事例3	11:10 ▼ 11:30	工務・保全 DX活用による工程安定化の推進 東レ株式会社 岡崎工場 工務部 工務保全課	飛鷹 和希	<発表キーワード> ● 予防保全・予知保全 ● 設備の管理方法・基準の見直し ● デジタル技術を利用した改善
	事例4	11:40 ▼ 12:00	工務・保全 ユーティリティ設備の瞬低対策による生産停止ロス改善 IBIDEN Hungary Kft ハンガリー 保全課	Benedek BREZVAI
12:00▶12:45		昼休憩 (お弁当をご用意しております)		
事例5	12:45 ▼ 13:05	工務・保全 設備点検のDX化無線振動センサー (Sushi)を用いた 傾向診断について 味の素株式会社 東海事業所 工務部電装グループ チームリーダー	上仲 正俊	<発表キーワード> ● 予防保全・予知保全 ● デジタル技術を利用した改善 ● 設備の信頼性向上
	事例6	13:15 ▼ 13:35	工務・保全 インペラ翼加工NCロータリーテーブルの予兆保全による 長時間故障の撲滅 株式会社豊田自動織機 東知多工場 エンジン事業部 製造第一部 P M室東知多保全課	高橋 利徳
事例7	13:45 ▼ 14:05	工務・保全 めっき搬送機停止ゼロへの挑戦 豊田合成株式会社 稲沢工場 製造技術2課	宮田 崇	<発表キーワード> ● 予防保全・予知保全 ● 設備の信頼性向上 ● 設備の管理方法・基準の見直し
	事例8	14:15 ▼ 14:35	工務・保全 設備データ消滅防止用バッテリー監視装置開発 株式会社デンソー 安城製作所 エレクトロフィケーション機器製造1部 グローバルTPM室 TPM1課	佐保 幸希
事例9	14:45 ▼ 15:05	工務・保全 水研ロボット 頻発故障低減 トヨタ自動車株式会社 田原工場 レクサス製造部 レクサス塗装2課 EX	工藤 彰	<発表キーワード> ● 設備の信頼性向上 ● 人財育成 ● 改良保全
	招待発表	15:15 ▼ 15:35	運転・製造 1モータHV スタータライン 溶接玉垂れ不良撲滅 株式会社アイシン グループ生産本部 安城第2工場 工場技術室 主任	都築 拓也
15:45▶15:55		全国設備管理強調月間 応募作品のご紹介		
16:00▶16:30		表彰式		

<p>事例1</p>	<p>信頼・協働・安定の熱延工場を目指して</p> <p>日本製鉄株式会社 名古屋製鉄所 熱延・鋼片・鋼管整備室</p> <p style="text-align: right;">杉浦 麗菜</p> <p>熱延保全未経験者が多く占める人員配置の中、熱延工場の安定生産を継続する為に、関係先と協働で従来経験知となっていた保安全管理項目を定量化、加えて管理強化によるトラブル防止に取り組み、成果に繋げた事例を発表する。</p> <p><発表キーワード></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 設備の管理方法・基準の見直し ● デジタル技術を利用した改善 ● 改良保全 	<p>ユーティリティ設備の瞬低対策による生産停止ロス改善</p> <p>IBIDEN Hungary Kft ハンガリー 保全課</p> <p style="text-align: right;">Benedek BREZVAI</p> <p>電力会社電源供給網で、年数回発生する瞬低は、気象問題により防ぐことができない状況である。社内で瞬低による設備影響度合いを掌握するためのデータ収集体制を整備し、設備停止を回避する対策を自掛で検証を繰り返し、設備停止を削減させた事例を発表する。</p> <p><発表キーワード></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 設備の信頼性向上 ● 人財育成
<p>事例2</p>	<p>重要設備でのヒータートラブル低減活動～若手保全マン達の挑戦～</p> <p>古河電気工業株式会社 三重事業所 AT製造部 設備技術課 保全作業組</p> <p style="text-align: right;">岡野 駿</p> <p>連続稼働する重要設備にて、ヒータートラブルが頻発し設備停止が発生していた。トラブルに対し、若手保全マン達が現場、現物、現実を把握し、カバー形状の見直しなどの改善活動を進め、トラブルを低減させた事例を発表する。</p> <p><発表キーワード></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 予防保全・予知保全 	<p>設備点検のDX化無線振動センサー（Sushi）を用いた傾向診断について</p> <p>味の素株式会社 東海事業所 工務部電装グループ チームリーダー</p> <p style="text-align: right;">上仲 正俊</p> <p>回転機器の振動傾向診断は設置コストが課題となり、常設台数が制限されてきた。今回、無線振動センサー（Sushi）の導入と監視データのクラウド化を図ったことで、安価設置および傾向の一元管理を達成できた事例を発表する。</p> <p><発表キーワード></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 予防保全・予知保全 ● デジタル技術を利用した改善 ● 設備の信頼性向上
<p>事例3</p>	<p>DX活用による工程安定化の推進</p> <p>東レ株式会社 岡崎工場 工務部 工務保全課</p> <p style="text-align: right;">飛鷹 和希</p> <p>繊維製造設備において、老朽化起因の設備トラブルが年間300件発生していた。そこでDX活用によって詳細にトラブル傾向を分析し、BM対応としていた機器のCBM化を進めることでトラブルを削減した事例を発表する。</p> <p><発表キーワード></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 予防保全・予知保全 ● 設備の管理方法・基準の見直し ● デジタル技術を利用した改善 	<p>インペラ翼加工NCロータリーテーブルの予兆保全による長時間故障の撲滅</p> <p>株式会社豊田自動織機 東知多工場 エンジン事業部 製造第一部 PM室 東知多保全課</p> <p style="text-align: right;">高橋 利徳</p> <p>インペラ翼加工機NCロータリーテーブル故障により長時間故障が発生、テーブル位置検出CZセンサの診断機能に着目し、既存のスマートファクトリー技術を活用することで、リアルタイムに状態監視し予兆保全に成功した事例を発表する。</p> <p><発表キーワード></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 設備の管理方法・基準の見直し ● 予防保全・予知保全 ● デジタル技術を利用した改善

事例7	めっき搬送機停止ゼロへの挑戦	事例9	水研ロボット 頻発故障低減
	豊田合成株式会社 稲沢工場 製造技術2課 宮田 崇		トヨタ自動車株式会社 田原工場 レクサス製造部 レクサス塗装2課 EX 工藤 彰
	めっき工程においてハンガー搬送機の設備故障が多発し生産性を低下させている。故障の真因を特定し部品の劣化を状態監視することにより、故障を未然防止し設備故障停止「0」をめざした事例を発表する。 <発表キーワード> <ul style="list-style-type: none"> ● 予防保全・予知保全 ● 設備の信頼性向上 ● 設備の管理方法・基準の見直し 		トヨタ初の水研磨の匠技術の自動化をロボットにより実現したものの、不具合が多発。不具合低減、撲滅に向けて活動した事例を発表する。 <発表キーワード> <ul style="list-style-type: none"> ● 設備の信頼性向上 ● 人財育成 ● 改良保全
事例8	設備データ消滅防止用バッテリー監視装置開発	招待発表	1モータHV ステータライン 溶接玉垂れ不良撲滅
	株式会社デンソー 安城製作所 エレクトロフィ ケーション機器製造1部 グローバルTPM室 TPM1課 佐保 幸希		株式会社アイシン グループ生産本部 安城第2工場 工場技術室 主任 都築 拓也
	設備機器データの消滅防止のために開発したバッテリー監視装置は、設備故障リスクの大幅低減実現と従来定期交換が必要であったバッテリーの交換レス化を実現した。本事例について発表する。 <発表キーワード> <ul style="list-style-type: none"> ● 作業の効率化・容易化 ● コストダウン ● 環境・省エネルギー 		ハイブリッドユニットのモータステータのコイルをTIG溶接しているが、溶接点の玉垂れによる不良に悩んでいた。玉垂れが発生する瞬間を見える化することでメカニズムを把握し、シールドガスなど加工点の良品条件を定めて不良を撲滅した事例を発表する。 <発表キーワード> <ul style="list-style-type: none"> ● 品質安定化・向上

時間		発表情報		※ 敬称略
09:30▶		開場・受付開始		
10:00▶10:10		開会のあいさつ		
事例1	10:10 ▼ 10:30	運転・製造 頑張る 新米イクメン 早く帰ってお風呂に入れたい ~部品落下改善による頻発停止低減と最終作業時間短縮~ 愛三工業株式会社 安城工場 第2製造部 製造2課 組長	深津 太平	<発表キーワード> ● 自主保全 ● 設備の管理方法・基準の見直し
	10:40 ▼ 11:00	工務・保全 ワーク取り出し不良による頻発停止低減対策 トヨタ車体株式会社 富士松工場 車体部プレス保全課	前畑 麻紀	<発表キーワード> ● 設備の信頼性向上 ● 人財育成 ● 設備の管理方法・基準の見直し
事例3	11:10 ▼ 11:30	運転・製造 保全留学 自主保全の向上を目指して 下村特殊精工株式会社 名古屋工場 棒鋼加工室	横田 智也	<発表キーワード> ● 自主保全 ● 人財育成 ● 改良保全
	11:40 ▼ 12:00	工務・保全 製品搬送時のサポート欠け低減活動 古河電気工業株式会社 三重事業所 ファイバ・ケーブル事業部門設備技術部 第1課保全技術職場 TM作業組	野口 秀人	<発表キーワード> ● 改良保全 ● 品質安定化・向上
12:00▶12:45		昼休憩 (お弁当をご用意しております)		
事例5	12:45 ▼ 13:05	運転・製造 TPMはMY活動 ~80Tプレス収納機 頻停回数の撲滅~ 愛知製鋼株式会社 電子部品製造部 電子知多工場 製造課 班長	小林 祐也	<発表キーワード> ● 自主保全
	13:15 ▼ 13:35	工務・保全 VCT組立ライン 搬送系トラブルの撲滅 ボルグワーナー・モールシステムズ・ジャパン株式会社 青山工場 青山製造部 製造課 保全係	廣崎 正和	<発表キーワード> ● 設備の信頼性向上 ● 設備の管理方法・基準の見直し ● 作業の効率化・容易化
事例7	13:45 ▼ 14:05	運転・製造 試行錯誤の果て、給脂・点検・清掃 奮(粉)闘史 大同特殊鋼株式会社 知多工場 原材料係	田中 将斗	<発表キーワード> ● 作業の効率化・容易化 ● 自主保全 ● 人財育成
	14:15 ▼ 14:35	工務・保全 機械学習を用いた設備予兆保全 株式会社豊田自動織機 本社 PE部 動力室動力保全課 スタッフリーダー	荒木 直樹	<発表キーワード> ● 予防保全・予知保全 ● 設備の管理方法・基準の見直し ● デジタル技術を利用した改善
事例9	14:45 ▼ 15:05	運転・製造 ブレーキHsg加工ライン 切粉による着座異常低減活動 株式会社アイシン 吉良工場 第2製造室 制御ブレーキ加工課 職長	岡安 雅巳	<発表キーワード> ● 設備の信頼性向上 ● 設備の管理方法・基準の見直し ● 改善活動の水平展開
	15:15 ▼ 15:35	運転・製造 【A会場にて】 1モータHVステータライン 溶接玉垂れ不良撲滅 株式会社アイシン グループ生産本部 安城第2工場 工場技術室 主任	都築 拓也	優秀改善事例全国大会2023 大会特別賞受賞事例 <発表キーワード> ● 品質安定化・向上
15:45▶15:55		全国設備管理強調月間 応募作品のご紹介		
16:00▶16:30		表彰式		

<p>事例1</p>	<p>頑張る 新米イクメン 早く帰ってお風呂に入りたい ～部品落下改善による頻発停止低減と終結作業時間短縮～</p> <p>愛三工業株式会社 安城工場 第2製造部 製造2課 組長</p> <p style="text-align: right;">深津 太平</p> <p>自分たちの職場は補給パーツが多く、また、月に数回しか動かないラインは稼働させる度に設備トラブルが多く、保全部署を呼び対応していました。しかし、TPM活動で自分たちの設備は自分たちで保全したいと思い、合言葉を『全員参加』としてメンバーと取り組んだ事例を発表する。</p> <p><発表キーワード></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自主保全 ● 設備の管理方法・基準の見直し 	<p>事例4</p>	<p>製品搬送時のサポート欠け低減活動</p> <p>古河電気工業株式会社 三重事業所 ファイバ・ケーブル事業 部門設備技術部 第1課保全技術職場 TM作業組</p> <p style="text-align: right;">野口 秀人</p> <p>慢性的に発生しているトラブルの発生メカニズムを解析し、周囲の環境変化に対応できるよう装置に自己補正機能を導入。トラブル件数低減し安定稼働に繋げる改善事例を発表する。</p> <p><発表キーワード></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 改良保全 ● 品質安定化・向上
<p>事例2</p>	<p>ワーク取り出し不良による頻発停止低減対策</p> <p>トヨタ車体株式会社 富士松工場 車体部プレス保全課</p> <p style="text-align: right;">前畑 麻紀</p> <p>プレス工程間ロボットの吸着搬送不良を、若手保全員がライン作業者と共に設備標準と吸着力の解析と確認を行い、真空センサーで波形の測定と真因追及し対策に結び付けた活動の事例を発表する。</p> <p><発表キーワード></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 設備の信頼性向上 ● 人財育成 ● 設備の管理方法・基準の見直し 	<p>事例5</p>	<p>TPMはMY活動 ～80Tプレス収納機 頻停回数の撲滅～</p> <p>愛知製鋼株式会社 電子部品製造部 電子知多工場製造課 班長</p> <p style="text-align: right;">小林 祐也</p> <p>TPM活動経験の浅い若いメンバーが、設備を基礎から学び生産旺盛の中、自職場のオリジナル活動であるMY活動を通して、見やすい・やり易いに拘り設備の頻停削減及び若手の成長に繋がった事例を発表する。</p> <p><発表キーワード></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自主保全
<p>事例3</p>	<p>保全留学 自主保全の向上を目指して</p> <p>下村特殊精工株式会社 名古屋工場 棒鋼加工室</p> <p style="text-align: right;">横田 智也</p> <p>専門保全へ1年間、留学して保全を学びながら、自職場の自主保全の能力を項目ごとに数値化、点数が低い項目を知識と人脈を使って改善し、職場の自主保全を向上させた事例を発表する。</p> <p><発表キーワード></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自主保全 ● 人財育成 ● 改良保全 	<p>事例6</p>	<p>VCT組立ライン 搬送系トラブルの撲滅</p> <p>ボルグワーナー・モールスシステムズ・ジャパン株式会社 青山工場 青山製造部 製造課 保全係</p> <p style="text-align: right;">廣崎 正和</p> <p>保全作業を行っている中で、カンコツ作業に頼ることがあり、結果として出戻り作業があった。カンコツ作業を分析することで、熟練作業者のスキルを標準化し保全効率と保全員のスキルがアップした改善活動事例を発表する。</p> <p><発表キーワード></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 設備の信頼性向上 ● 設備の管理方法・基準の見直し ● 作業の効率化・容易化

事例7	<p>試行錯誤の果て、給脂・点検・清掃 奮(粉)闘史</p>	事例9	<p>ブレーキHsg加工ライン 切粉による着座異常低減活動</p>
	<p>大同特殊鋼株式会社 知多工場 原材料係</p> <p style="text-align: right;">田中 将斗</p>		<p>株式会社アイシン 吉良工場 第2製造室 制御ブレーキ加工課 職長</p> <p style="text-align: right;">岡安 雅巳</p>
	<p>誰もが『見過ごしていた・あきらめていた』といった慢性化していた問題にもう一度向き合い、点検や清掃をいかに容易に、時間を掛けずに、を全員で知恵と工夫を出し合い、3K職場からの脱却を狙った改善事例を発表する。</p> <p><発表キーワード></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 作業の効率化・容易化 ● 自主保全 ● 人財育成 		<p>転用設備を活用し、当社で初の押出アルミ合金材質の加工を開始したが、絡まりやすい切粉による着座異常が多発。転用設備の機能を最大限活かした改善を行い、クーラントで切粉を排出し着座異常ゼロを達成した事例を発表する。</p> <p><発表キーワード></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 設備の信頼性向上 ● 設備の管理方法・基準の見直し ● 改善活動の水平展開

事例8	<p>機械学習を用いた設備予兆保全</p>
	<p>株式会社豊田自動織機 本社 PE部動力室動力保全課 スタッフリーダー</p> <p style="text-align: right;">荒木 直樹</p>
	<p>PE部では工場全体へのエネルギー供給しており、設備故障は工場全体の生産を阻む。故障原因追及と対策は進むも完全解消せず。機械学習手法の比較検証で、標準偏差管理と主成分分析とMT法の組合せが有効と判断し実装した事例を発表する。</p> <p><発表キーワード></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 予防保全・予知保全 ● 設備の管理方法・基準の見直し ● デジタル技術を利用した改善

時間		発表情報		※ 敬称略
09:30▶		開場・受付開始		
10:00▶10:10		開会のあいさつ		
事例1	10:10 ▼ 10:30	工務・保全 排水処理 薬剤調整の適正化 サントリープロダクツ株式会社 木曾川工場 工務部門	西垣 公貴	<発表キーワード> ● 設備の管理方法・基準の見直し ● 作業の効率化・容易化
	10:40 ▼ 11:00	工務・保全 専門設備スキル向上による受け身から攻めの設備管理体制へ イビデン株式会社 大垣事業場 設備管理部 設備管理1G JM	大倉 満憲	<発表キーワード> ● 作業の効率化・容易化
事例3	11:10 ▼ 11:30	工務・保全 脱硫燃焼設備 廃熱ボイラー長寿命化 日本製鉄株式会社 名古屋製鉄所 製銑整備室	永井 翔一	<発表キーワード> ● 設備の信頼性向上 ● 品質安定化・向上 ● 改良保全
	11:40 ▼ 12:00	工務・保全 起重機チーム教育改革 大同特殊鋼株式会社 知多工場 設備センター起重機チーム 班長	阿部 和城	<発表キーワード> ● 人財育成
12:00▶12:45		昼休憩 (お弁当をご用意しております)		
事例5	12:45 ▼ 13:05	工務・保全 歯車研削盤 故障低減への取り組み トヨタ自動車株式会社 衣浦工場 第1T/M製造部 第1設備課 組長	栗山 幸二	<発表キーワード> ● 設備の信頼性向上 ● 改良保全 ● 改善活動の水平展開
	13:15 ▼ 13:35	工務・保全 設備バッテリーメンテナンスフリー化による バッテリー交換作業の廃止 株式会社デンソー 湖西製作所 モータ製造1部 製造技術室 TPM2課 係長	村田 章	<発表キーワード> ● 改良保全 ● 環境・省エネルギー
事例7	13:45 ▼ 14:05	工務・保全 バンパー孔明け工程切りカス「ゼロ」への挑戦 トヨタ車体株式会社 吉原工場 塗装部保全課 TL	田中 雄大	<発表キーワード> ● 稼働安定化・向上 ● 人財育成 ● デジタル技術を利用した改善
	14:15 ▼ 14:35	工務・保全 工場用役設備の工程安定化活動 東レ株式会社 愛知工場 工務保全室 動力グループリーダー	椎原 登志男	<発表キーワード> ● 設備の管理方法・基準の見直し
事例9	14:45 ▼ 15:05	A・B会場にて9事例目の発表		
招待発表	15:15 ▼ 15:35	運転・製造 【A会場にて】 1モータHV ステータライン 溶接玉垂れ不良撲滅		優秀改善事例全国大会2023 大会特別賞受賞事例
		株式会社アイシン グループ生産本部 安城第2工場 工場技術室 主任	都築 拓也	<発表キーワード> ● 品質安定化・向上
15:45▶15:55		全国設備管理強調月間 応募作品のご紹介		
16:00▶16:30		表彰式		

<p>事例1</p>	<p>排水処理 薬剤調整の適正化</p> <p>サントリープロダクツ株式会社 木曽川工場 工務部門 西垣 公貴</p> <p>排水処理の工程において、法令遵守の状況を保つためには設備などの定期的な見直し・改善が必要である。そこで排水評価表というマトリクス表を作成し、現状の設備の弱点を特定した。薬剤調整量の人によるバラつきや作業負荷の観点から薬剤調整作業の改善を行った事例を発表する。</p> <p><発表キーワード></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 設備の管理方法・基準の見直し ● 作業の効率化・容易化 	<p>歯車研削盤 故障低減への取り組み</p> <p>トヨタ自動車株式会社 衣浦工場 第1 T/M製造部 栗山 幸二 第1 設備課 組長</p> <p>歯車研削盤の安定稼働・生産性向上に向けて、故障の再発防止と同類機への横展を行った活動事例を発表する。</p> <p><発表キーワード></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 設備の信頼性向上 ● 改良保全 ● 改善活動の水平展開
<p>事例2</p>	<p>専門設備スキル向上による受け身から攻めの設備管理体制へ</p> <p>イビデン株式会社 大垣事業場 大倉 満憲 設備管理部設備管理1G JM</p> <p>今までメーカー依存となっていた高精度/高難易度専門設備において、メーカーと弊社との課題に対する対応策を共有し、改善案を実現させ、設備停止時間の削減と状態監視での故障の未然防止と修繕費削減をした事例を発表する。</p> <p><発表キーワード></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 作業の効率化・容易化 	<p>設備バッテリーメンテナンスフリー化によるバッテリー交換作業の廃止</p> <p>株式会社デンソー 湖西製作所 モータ製造1部 村田 章 製造技術室 TPM2課 係長</p> <p>設備高稼働への取り組みによるPM業務増に対し、PMルーチン業務の廃止を目的として取り組んだ。電動化にともない増加したバッテリー交換作業に着目し、メンテナンスフリーを実現した事例（バッテリー廃却0でSDG'sへも貢献）を発表する。</p> <p><発表キーワード></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 改良保全 ● 環境・省エネルギー
<p>事例3</p>	<p>脱硫燃焼設備 廃熱ボイラー長寿命化</p> <p>日本製鉄株式会社 名古屋製鉄所 製銃整備室 永井 翔一</p> <p>脱硫燃焼設備は、コークス炉発生ガスから回収した各種物質を燃焼・無害化処理している。その廃熱回収を行うボイラーのチューブの穴開き・漏水について、長寿命化の改善に取り組み、成果を得た事例を発表する。</p> <p><発表キーワード></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 設備の信頼性向上 ● 品質安定化・向上 ● 改良保全 	<p>バンパー孔明け工程切りカス「ゼロ」への挑戦</p> <p>トヨタ車体株式会社 吉原工場 塗装部保全課 TL 田中 雄大</p> <p>成形工場バンパーエンドミル加工機の、切りカス落下による頻発停止をサークルメンバー全員で取り組み、改善していった活動の事例を発表する。</p> <p><発表キーワード></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 稼働安定化・向上 ● 人財育成 ● デジタル技術を利用した改善
<p>事例4</p>	<p>起重機チーム教育改革</p> <p>大同特殊鋼株式会社 知多工場 阿部 和城 設備センター起重機チーム 班長</p> <p>未来の起重機チームを背負う人材を教育し、より魅力的な職場を築くことを目標に、チーム全体で教育活動を行った事例を発表する。</p> <p><発表キーワード></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 人財育成 	<p>工場用役設備の工程安定化活動</p> <p>東レ株式会社 愛知工場 工務保全室 椎原 登志男 動力グループリーダー</p> <p>東レ国内工場で行っている用役設備工程安定化活動を通じて、工場内全ての設備の保全状況を確認しリスト化した。その中で発見された長期間未点検であった設備等について保全改善を実行し工程安定化を図った事例を発表する。</p> <p><発表キーワード></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 設備の管理方法・基準の見直し

時間		発表情報		※ 敬称略
09:30▶		開場・受付開始		
10:00▶10:10		開会のあいさつ		
事例1	10:10 ▼ 10:30	工務・保全 突発故障低減対策 株式会社東海理化 音羽工場 コネクタ生産部 技術課 班長	池田 翔	<発表キーワード> ● 改良保全
	事例2	運転・製造 職場の設備は愛車と同じ！綺麗に洗って故障ゼロ！ オートストレーナー目詰まり除去改善 愛知製鋼株式会社 知多工場 製鋼・分塊センター ステンレス製鋼課	坂本 優至	<発表キーワード> ● 設備の管理方法・基準の見直し ● 作業の効率化・容易化 ● 自主保全
事例3	11:10 ▼ 11:30	工務・保全 排水処理場 異常対応時間短縮 アイシン高丘株式会社 本社 動力保全係	近江 翼	<発表キーワード> ● 予防保全・予知保全 ● デジタル技術を利用した改善 ● 作業の効率化・容易化
	事例4	工務・保全 燃料系カットオフバルブカバー 嵌合部バリ不良撲滅 豊田合成株式会社 平和町工場 FC製造技術1課	高坪 健人	<発表キーワード> ● 品質安定化・向上 ● 改良保全 ● 予防保全・予知保全
12:00▶12:45		昼休憩（お弁当をご用意しております）		
事例5	12:45 ▼ 13:05	運転・製造 L/R同期締付異常ゼロ化 株式会社アイシン 半田工場 製造1室製造2課 職長	松嶋 一雄	<発表キーワード> ● デジタル技術を利用した改善 ● 自主保全 ● 設備の信頼性向上
	事例6	工務・保全 図面運びはもう嫌だ ～シーケンサ遠隔監視に挑戦～ JFEスチール株式会社 知多製造所 企画部 保全室	加藤 友	<発表キーワード> ● 作業の効率化・容易化 ● デジタル技術を利用した改善 ● 改良保全
事例7	13:45 ▼ 14:05	工務・保全 カン・コツ当たり前からの脱却 ～ノズル分解・組付け作業の失敗撲滅～ トヨタ紡織株式会社 刈谷工場 刈谷製造部 設備型保全課 型保全1係	永吉 史嵩	<発表キーワード> ● 作業の効率化・容易化 ● 設備の信頼性向上 ● 設備の管理方法・基準の見直し
	事例8	工務・保全 計装弁安定化に向けた奮闘物語 日本製鉄株式会社 名古屋製鉄所 電気計装整備室 計装整備課	森下 慎悦	<発表キーワード> ● 予防保全・予知保全 ● 設備の管理方法・基準の見直し
事例9	14:45 ▼ 15:05	A・B会場にて9事例目の発表		
招待発表	15:15 ▼ 15:35	運転・製造 【A会場にて】 1モータHVステータライン 溶接玉垂れ不良撲滅 株式会社アイシン グループ生産本部 安城第2工場 工場技術室 主任	都築 拓也	優秀改善事例全国大会2023 大会特別賞受賞事例 <発表キーワード> ● 品質安定化・向上
	15:45▶15:55		全国設備管理強調月間 応募作品のご紹介	
16:00▶16:30		表彰式		

<p>事例1</p>	<p>突発故障低減対策</p> <p>株式会社東海理化 音羽工場 コネクタ生産部技術課 班長</p> <p style="text-align: right;">池田 翔</p> <p>金型内組付けの量産を開始したところ、金型の突発故障が増加し、修繕費がUpしたため、壊れにくく、修理しやすい金型構造に変更した事例を発表する。</p> <p><発表キーワード></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 改良保全 	<p>L/R同期締付異常ゼロ化</p> <p>株式会社アイシン 半田工場 製造1室製造2課 職長</p> <p style="text-align: right;">松嶋 一雄</p> <p>自動組付ラインのねじ締工程にて発生しているL/R同期締め付けを、深堀り調査をおこなうことで異常発生をゼロ化した事例を発表する。</p> <p><発表キーワード></p> <ul style="list-style-type: none"> ● デジタル技術を利用した改善 ● 自主保全 ● 設備の信頼性向上
<p>事例2</p>	<p>職場の設備は愛車と同じ！綺麗に洗って故障ゼロ！オートストレーナー目詰まり除去改善</p> <p>愛知製鋼株式会社 知多工場 製鋼・分塊センター ステンレス製鋼課</p> <p style="text-align: right;">坂本 優至</p> <p>溶けた鋼を固める鑄造工程は、フィルターでろ過された水で冷却しているが、フィルターが詰まると水流量が低下し鑄造不能になる。フィルター洗浄・チェック方法の改善と、目詰まりを数値化し管理基準を明確にした事例を発表する。</p> <p><発表キーワード></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 設備の管理方法・基準の見直し ● 作業の効率化・容易化 ● 自主保全 	<p>図面運びはもう嫌だ ～シーケンサ遠隔監視に挑戦～</p> <p>JFEスチール株式会社 知多製造所 企画部 保全室</p> <p style="text-align: right;">加藤 友</p> <p>初の女性社員が配属され、当たり前だと思っていた図面を持っての移動の大変さを知り、改善に取り組んだ。異なるネットワークの接続に成功し、トラブルの遠隔監視を実現させ、全員が苦勞せず安全に調査可能となった事例を発表する。</p> <p><発表キーワード></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 作業の効率化・容易化 ● デジタル技術を利用した改善 ● 改良保全
<p>事例3</p>	<p>排水処理場 異常対応時間短縮</p> <p>アイシン高丘株式会社 本社 動力保全係</p> <p style="text-align: right;">近江 翼</p> <p>24時間体制で工場に必要な原動力の安定供給と設備の運転保守管理を行っているが、守備範囲が工場全域と広く、効率化とは言えない。そこで、IoTを活用して保守管理業務の効率化を遂げた事例を発表する。</p> <p><発表キーワード></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 予防保全・予知保全 ● デジタル技術を利用した改善 ● 作業の効率化・容易化 	<p>カン・コツ当たり前からの脱却 ～ノズル分解・組付け作業の失敗撲滅～</p> <p>トヨタ紡織株式会社 刈谷工場 刈谷製造部 設備型保全課 型保全1係</p> <p style="text-align: right;">永吉 史嵩</p> <p>自職場は職人気質で専門技能の高い職場。私たちにとって当たり前化していた『カン・コツ作業』を、職場を取り巻く環境と将来を見据えて『誰もが簡単に作業できるように！』を目指して自前改善にこだわってやり遂げた事例を発表する。</p> <p><発表キーワード></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 作業の効率化 ● 設備の信頼性向上 ● 設備の管理方法・基準の見直し
<p>事例4</p>	<p>燃料系カットオフバルブカバー 嵌合部バリ不良撲滅</p> <p>豊田合成株式会社 平和町工場 FC製造技術1課</p> <p style="text-align: right;">高坪 健人</p> <p>前年度の金型故障解析から燃料系部品で金型起因によるバリが多く発生。慢性的に発生している金型不具合に対し原因追及、根本的な対策を実施し、摺動摩擦によるバリの発生を抑えた事例を発表する。</p> <p><発表キーワード></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 品質安定化・向上 ● 改良保全 ● 予防保全・予知保全 	<p>計装弁安定化に向けた奮闘物語</p> <p>日本製鉄株式会社 名古屋製鉄所 電気計装整備室 計装整備課</p> <p style="text-align: right;">森下 慎悦</p> <p>日本製鉄名古屋製鉄所全域の、計装機器保全を担当している職場で、管理範囲で発生した機器の故障分析から、発生件数が多かった。予兆管理可能な計装弁の安定化に取り組み、故障0を達成した事例を発表する。</p> <p><発表キーワード></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 予防保全・予知保全 ● 設備の管理方法・基準の見直し